

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・高校受験用の写真撮影で来店する中学生が、前年同月と比べて、大きく伸びている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は地域で大きなイベントがあり、イベントで来た客の購入で、上向きになっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・11月は比較的落ち着いた月で、売上の増減が少ない。前年比で売上は104%、来客数は102%となっている。物価上昇というか、たばこの増税による売上金額の伸びと思われる。ただし、人件費も上がっているため、利益は伸びていない。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数、単価共に良くなっている。また、グループ単位での食事会なども増えてきている。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・11月に入り来客数も多くなり、宿泊、宴会共に目標を達成できる見込みである。年末に向けて周辺の景気が上向いてきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ボーナス商戦に向け、各店の販売量が多くなっている。
		通信会社（局長）	来客数の動き	・例月より、来客数が120%増えている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・週末を中心に天候に恵まれたことから、来園者が増加している。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・仕事を外注しようとしても皆忙しく、仕事を受けてもらうにも苦労している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・秋の暖かい天候が続いている。各地で文化祭や芸能祭等が行われており、そういった日には客は大勢来てくれるが、ふだんは静かな日々が続いている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・依然として、婦人衣料が芳しくない。冬物重衣料の不振が顕著で、数字が伸び悩んでいる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・おしなべて良いところがなく、各商品群とも良くない。3か月前と変わらないが、その前から継続して前年割れが続いているため、良い状況には向かっていない。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・改装景気が10月で一巡し、1年間増加傾向にあった来客数も落ち着いている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・売上は前年並みだが、買上客数は前年割れのため、変わらない。
		スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・ここ数か月、良くも悪くも売上、来客数に変動がない。平日の集客ポイント開催時の数値は良いものの、週末が悪く、相殺される状況に変わりが無い。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・高付加価値の商材を案内しているが、客は価格を優先するので、単価上昇はできていない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数はやや減少し、車検台数や整備関連の売上は微増である。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車販売だが、今年の11月は過去最低ではないが、10月下旬くらいから、おかしいと思っていたが、11月に入って全く売れない。展示会をしても同じで、集客がない。今月はどうしたんだろうと話している。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・観光地を控える当地では、観光客で街はものすごいにぎわいである。ただそれが車の販売や修理部門につながるかというとそうでもない。私の身の回りではかなり景気の良い話ばかりなので、販売につながればと思っているが、2～3か月前と大して変わらない販売台数である。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は、例年なら10～11月のいずれかに大きな波が来るのだが、今年は大きな山というか、突き抜けたボリュームのある販売がなかなか発生しない。落ちるときは落ちるが、後は平均的な数字にしかならない。なかなか購買意欲の盛り上がりを感じられない。	
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・暖冬傾向もあり、来客数が伸びない。消費税増税に対する施策が報じられ、将来不安で節約意識がより高まった感がある。	
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると来客数は伸びているが、前年比でみると売上は余り良くないままである。	
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・受注状況は変わりなく、推移している。	

	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・経費負担軽減のため社員食堂を閉鎖する受託先がある一方、新規案件の入札もある。企業ごとで福利厚生に関するスタンスにばらつきがある。結果、トータルでは変わらない状況で推移していく。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・現在はやや良いところだが、2～3か月前からほぼ同等で、変わらない。
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・インターネット予約が引き続き好調に動いている上、団体予約も安定的に取り込めている。
	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・台風の影響等を懸念していた紅葉シーズンだったが、順調に色づき、おおむね良好であった。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と変わらないというのは、良くならないということである。日ごとに売上の良さがあり、1か月トータルすると変わらない。相変わらず、夜から深夜にかけての人通りがない。
	タクシー（役員）	単価の動き	・働き手不足である。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、ほとんど変化がみられない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は不動産、貸店舗、アパート、マンション等の引き合いがほとんどなく、停滞状態である。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・当地区は10月に入って、プレミアム付商品券を販売した。結構、商品券を買っている人はいると思うが、使う人が少なくなっている。余り良くないのではないかと。
	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・来客数はもちろんのこと、飲食店関係の取引先も軒並み、仕入量が減っている。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年に比べて多少良いものの、3か月前と比べると下落してきている。食品は好調だが、衣料品の売上が非常に厳しい。平年よりも気温が高いため、衣料品の買い控えが起きている。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく客が来ないので、当然販売量も落ち込んでいる。前月は若干良かった部分もあるが、それも長続きはせず、今月は客の財布のひもが一層固く、冷え切っている。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年の来客数と売上を特に意識している。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪く、前年同月と比べて9%の減少である。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・8月以降、前月実績割れが続いている。
	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・高原コースの立地で、夏は涼しく冬は寒いので、例年10月をピークに来場者は減少する。前年10月は台風の影響でキャンセルが約900人いたが、前年は11月に開催したコンペが今年は台風が少なかったため繰上げとなり、今月の入場者数が前年比で減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・当社の化粧品部門で爆発的に売れている商品は、話題の眼鏡ルーペである。新しい市場を開拓した先見の明と小売先を限定しない販売ルートは参考になる。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、客単価もこのところずっと、10%割れをしている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・前月までは、住宅建築用地の先行取得客の成約が多かったものの、ここ1か月は落ち着いてしまっている。
	× 通信会社（経営者）	販売量の動き	・年末に近くなっても売上は上向かない。事業所や個店からの受注は皆無に近い。
	× ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・今夏は例年に比べて暑かったため、どの業種も余り良くない。
企業動向関連	-	-	-
(北関東)	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・製品の原材料価格が上昇したため、価格転嫁の方向にあるとアナウンスしている。一時的な需要増の傾向がみられる。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前よりも売上が増えているようなので、今後にも期待している。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・来年立ち上がる量産案件の新規引き合いが、業種を問わず増えてきている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が順調で、前年同月比の大体15～20%増である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・北米向け販売が83か月連続で、前年超えとなっている。ただし、自動車メーカーの不正検査問題により国内生産は19年3月まで減産となる。

	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前月決算及び前年1年間でみても、15%の増収増益の流れている。	
	建設業(開発担当)	受注量や販売量 の動き	・売上の95%を公共工事が占めている。現政権のもと公共工事は順調に推移し、今期も前年比16%増の発注で、特に、地方業者に影響のある市町村発注は前年比33%増と、絶好調である。当社受注も同比10%増で順調に推移している。ただ、建設業は10年来の不況業種で、従業員の高齢化など切実な問題も抱えている。今期決算は黒字を見込んでいる。	
	建設業(総務担当)	受注量や販売量 の動き	・相変わらず工事量は豊富で、こなすだけで精一杯である。	
	窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量 の動き	・例年になく稼働しており、人手不足の状況である。	
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・今月は受注価格、販売量の動き、取引先の様子等、まずまずの良い方向である。	
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・寒くなってきて、特に、冬物家電、暖房家電や加湿器、寝具等、また、インターネット通販関係先への物量が増えている。全体的には10%増の物量を扱っているが、燃料価格の高騰により、前年より利益は減っている。	
	不動産業(管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・今のところ、受託業務の新規、追加分と解消、減額分がほぼ同額のため、横ばいである。	
	司法書士	受注量や販売量 の動き	・我々の仕事は毎年11~12月と3月が忙しくなる時期だが、ここ数年間は、その傾向は余り強くない。いつもと変わらない月になるとみている。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・最近、離職手続が減っている。中途採用も少なく、人の動きが止まっている。	
	その他サービス 業[情報サービス] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・引き合い、商談件数が活発に動いており、受注量も増加傾向にある。今後の収益改善が見込まれる。	
	広告代理店(営業 担当)	取引先の様子	・高額商材を扱う自動車、住宅、結婚式場などからの受注状況が悪く、販促予算を削る傾向になっているようである。	
	経営コンサルタント	それ以外	・商業施設や観光地などに人出はあるものの、食料、飲食等の全般的な消費支出の盛り上がりは乏しい。また、下請企業や物流関連も繁忙感には遠く、地域経済に大きな変化がない。	
	x	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・前月と変わらない。
雇用 関連 (北関東)		職業安定所(職員)	採用者数の動き	・製造業を中心に受注増が続いており、「とにかく人が足りない」という話を聞いている。
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・電機、機械、自動車関連部品、電子は携帯電話、スマートフォンに関連する動きが、若干求人に見受けられている。依然として介護、看護、専門職などのサービスの募集も目立っている。秋冬物衣料は気候の変動等もあり、バーゲン等での伸びがあったようである。生鮮食料品等は豊富にそろってきて、購買力が上がってきている。
		人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・今のところ求人数があり、一生懸命、人を探しているが、なかなか見つからない。それでも少し売上が上昇して良くなっている。
		学校[専門学 校](副校長)	求人数の動き	・県内高校生の9月末現在の内定率は67.5%と、3年連続で最高値を更新している。リーマンショック後、一時は4割台だったことを考えると、非常に良くなっている。
		人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・一定の求人数はあるものの、募集企業の基準を満たす人材の不足状況は、改善していない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・前年同月比で新規求人数はマイナス0.6%、有効求人数マイナス0.7%であり、3か月前と比べても前年同様の傾向である。有効求人倍率は1.58倍と高い水準で推移している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求人倍率は2.17倍と前年同月比からは0.27ポイント下回ったが、継続して高水準で推移している。
		人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・派遣先よりコストダウンの要求があったため、やや悪くなっている。
		x	-	-